

堤氏：国土交通省ではインフラツーリズムの一環として、ダムの基本情報などを記載した「ダムカード」の作成・配布、ツアー旅行の中にダム見学を組み込んだダムツーリズムの発信など、ダムを地域の観光資源として活用してもらうために、様々な取り組みを行っている。また、ダムがあるまちのレストランなどが提供する「ダムカレー」は話題を呼んでおり、これらをきっかけに、ダムを訪れる観光客が増えればと思う。今回、情報共有、情報発信という話があったが、我々もこれまで以上に取り組んでいきたいと考えている。

扇田氏：最後に、この写真をご覧いただきたい。左上はフランスで最大の太陽光発電所。右上は、アメリカのカリフォルニアにある風力発電所で約700haに5,000基近い風車が林立。下の写真は、大町ダムと龍神湖。我々は現代の最先端の科学文明の恩恵を受けて生活しており、どのようなエネルギーであっても私たちの利便性を支えていく装置は壮大なスケールのものを造られなければ支えることができないという現実を認識いただきたいと



思う。長野県内には、70基ほどのダムがある。これから50年、100年と「ダム」として残るわけであり、このダムをどのように活用していくか、我々がどのように使っていくのか、その知恵が必要。「自然か文明か、開発か保護か」のような二者択一の世界ではなく、この二つをどのように共創させていくのかということが、今求められているのではないか。今日は様々な話題があった。皆様の問題意識に従って腑に落ちたご意見があれば、それを心の中に秘めて、それぞれの生活の場の中で発酵させていただければ、今日主催していただいた北陸地方整備局および大町ダム管理所の一番の眼目ではないかと思う。



大町ダム完成30周年記念シンポジウム

これからの時代の暮らしの安全とダムの活かし方を考える 記録概要

【シンポジウム開催】

主 催 国土交通省北陸地方整備局大町ダム管理所
後 援 長野県 長野市 安曇野市 大町市 池田町 松川村 生坂村
すいりゅういききネットワーク 東京電力パワーグリッド(株) 松本電力所 高瀬川総合制御所
(公財)大町エネルギー博物館 市立大町山岳博物館 大町市観光協会
北安中部漁業協同組合 (一社)北陸地域づくり協会

【記録編集・発行】 国土交通省北陸地方整備局大町ダム管理所

〒398-0001 長野県大町市平2112-71 TEL 0261-22-4511 FAX 0261-22-4512

ホームページ <http://www.hrr.mlit.go.jp/omachi>

作成協力:すいりゅう・いききネットワーク